



寺嫁まめこの ひとこと通信

お寺のことや仏教のことをもっと身近に！そんなことをまずは自分で感じてみよう～、と思いながら書いている寺嫁のつぶやき。

VOL. 43 (令和5年5月発行)

こんにちは。新緑の緑が目楽しいこの頃ですね。さてさて、ゴールデンウィーク、みなさまはいかがお過ごしでしょうか。私は特に出かけることもなく、テレビで渋滞の映像を見て過ごすと思います^^; お出かけされる方もされない方も、どんなこともいい経験として過ごせるといいですね！では、今号もよろしくお祈りします^_^

～ 自分の中に三つのタカラモノを持つ！ ～

今年のみめこ通信はお経がテーマ。

今回は「**三帰戒 (さんきかい)**」を取り上げます！

これは毎月8日の布薩会 (ふさつえ) のときにお唱えするものの1つです。ちなみに布薩会とは、簡単に言うと【仏教徒の反省会】。日々の行いを振り返る場です。

さらに言うと、先月の「懺悔文 (さんげもん)」も布薩会でお唱えしています。

それではお経を紹介しましょう～。
日本語ですよ！

『三帰戒』

自ら仏 (ほとけ) に帰依し ^{きえ} 奉る ^{たてまつ}

自ら法 (ほう) に帰依し 奉る

自ら僧 (そう) に帰依し 奉る

……日本語なのに、わかるようでわからない^^;

【そもそも帰依ってなんだろう？】

というところからですよ。
帰依というのは、自ら信じて心のよりどころにする、ということです。
強制されるものじゃない。自分から進んで選び取り、
人生の支えにするのです。

ただ、中身を知らないことには選びようがない。
じゃあ、ここでは何に帰依するのか、というと、

仏・法・僧の3つです！



仏に帰依する、というのは→悟りをひらいた**尊い人**を信じ、よりどころとする。
法に帰依する、というのは→悟りをひらいた**尊い人**の**教え**を信じ、よりどころとする。
僧に帰依する、というのは→教えを共に学ぶ**仲間**を信じ、よりどころとする。

ということなんです。

尊い人を信じるということは、自分にも慈悲の心があると信じ、そういう心で生きようと誓い、
教えを信じるということは、教えを学ぶことでものごとを正しく観る目をもって生きようと誓い、
仲間を信じるということは、共に成長し、お互いを敬い合って生きようと誓う、

そういうことだと思うのです。

『三帰戒』は3つの宝を自分の中に持って生きることを誓うお経だと私は思っています！